令和５年度（２０２３年度）　熊本県立人吉高等学校　全日制　シラバス　　一学期

教科	国語	科目（単位数）	論理国語（２）	学年	２	類型	全クラス

学習 目標	（１）文章や図表などに含まれている情報を相互に関係づけながら内容や書き手の意図を解釈する力をつける。・・（知識及び技能） （２）論理的に考える力や、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で、また、古典作品から読み取れる先人のものの見方、感じ方、考え方に触れる中で、自分の思いや考えを広げ、伝え合う力を高める。・・（思考力、判断力、表現力） （３）言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。・・（学びに向かう力、人間性等）

評価基準	**知識・技能**	**①定期考査（知識・技能を問う問題）７割　②ノート・プリント１割　③提出物（課題）２割**
	思考・判断・表現	**①定期考査（思考、判断、表現を問う問題）７割　②ノート・プリント１割　③提出物（課題）２割**
	主体的に学習に向かう態度	**①定期考査　２割　②ノート・プリント　１割　③提出物（課題）７割**

期間	単元（学習内容）	学習の到達目標
年度初～ １学期 中間考査	評論 /手の変幻（清岡卓行）	（知）言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解する。「逆説」「アイロニー」という語が意味する内容を、文脈に沿って読み取り、筆者の意図を具体的に説明できる。 （思）筆者の「芸術」のとらえ方を、文章中の表現をもとに的確に読み取ったうえで、そのとらえ方に対する自分の考えを自分の経験も交えながら述べることができる。 （学）進んで本文を検討し、考えを整理して学習課題に取り組む。
１学期中間～ 期末考査	評論/「具体」から「抽象」へ （森博嗣）	（知）抽象的に表現することが対象の本質をつかむことにつながるということを理解し、具体化や連想のような思考方法とも関連づけて考えることができる。 （思）日常生活の中から抽象的思考の例を適切に挙げ、抽象的思考の利点がわかるように説明できる。 （学）文章の内容に適した具体例を粘り強く検討し、学習課題に沿って適切に説明しようとする。
	評論/「国境を越える言葉」 （長田弘）	（知）言葉が「国境を越える」という筆者の考えを踏まえ、自分が日常的に用いている言葉にも同様の働きがあるということを理解すること （思）外国の言葉や表現を複数選び、それぞれが表す概念を紹介するとともに、その概念について自分が考えたことを説明することができる。 （学）文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとする。
１学期期末後	小説/「山月記」（中島敦）	（知）作品のストーリーを文脈の中で正確に把握することができる。 （思）作品の展開を踏まえ、人間が虎になるという設定がもたらす効果について、おおむね理解することができている。 （学）人間が虎になるという設定の効果について粘り強く考察しこれまでの学習を生かして考える。

使用教材（教科書・副教材）	教科書：「論理国語」（数研出版）。副教材：「名作を味わう定番小説選」（数研出版）「現代文単語　げんたん　改訂版」（いいずな書店）「大学入試に出た核心漢字２５００＋語彙１０００」（尚文出版）「新訂総合国語便覧」（第一学習社）、「論読現代文２」（浜島書店）
学習方法	予習・授業・復習のサイクルの徹底。 （予習で、本文を読み、わからない言葉を辞書で引いてくる。授業で内容を深く読解し書き手の意図を考える）
評価方法	（知）考査・課題・プリント （思）考査・ノート・プリント・課題等 （学）ノート・プリント・課題や授業への取組み状況等

令和５年度（２０２３年度）　熊本県立人吉高等学校　全日制　シラバス　　二学期

教科	国語	科目（単位数）	論理国語（2）	学年	2	類型	全クラス

学習 目標	（1）文章や図表などに含まれている情報を相互に関係づけながら内容や書き手の意図を解釈する力をつける。・・（知識及び技能） （2）論理的に考える力や、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で、また、古典作品から読み取れる先人のものの見方、感じ方、考え方に触れる中で、自分の思いや考えを広げ、伝え合う力を高める。・・（思考力、判断力、表現力） （3）言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。・・（学びに向かう力、人間性等）

評価基準	**知識・技能**	**①定期考査（知識・技能を問う問題）７割　②ノート・プリント１割　③提出物（課題）２割**
	思考・判断・表現	**①定期考査（思考、判断、表現を問う問題）７割　②ノート・プリント１割　③提出物（課題）２割**
	主体的に学習に向かう態度	**①定期考査　２割　②ノート・プリント　１割　③提出物（課題）７割**

期間	単元（学習内容）	学習の到達目標
～中間考査	評論 「未来世代への責任」 （岩井克人）	（知）経済学の「論理」の内容と、未来世代への責任を果たすためには「倫理」が必要であるということを理解できている。 （思）「未来世代への責任」という題で、複数の具体的な問題例を挙げながら、それぞれの特徴などを指摘したうえで自分の考えを述べることができている。 （学）進んで本文を検討し、考えを整理して学習課題に取り組む。
	評論「日本語は非論理的か」（野矢茂樹 （森博嗣）	（知）筆者が提示する問題点を正しくまとめ、現代のコミュニケーションの有り様について具体例を交えてまとめることができる。 （思）筆者が提示する問題点と現代のコミュニケーションの有り様を踏まえて、今後のコミュニケーションに関する自分の意見をまとめることができる。 （学）主体性をもって粘り強く考えを整理して学習課題に取り組む。
中間～期末考査	評論/「消費されるスポーツ」 （多木浩二）	（知）文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深める。〔⑴ウ〕 （思）「メディア」と「スポーツ」の関係から活動の総体としての「社会」を導くという文章展開をとらえ、具体的に説明することができ （学）進んで本文を検討し、考えを整理して学習課題に取り組む。
	評論 「野生の「クジラ」と人間の「鯨」」 （関陽子）	（知）「かけがえのなさという客観的で普遍的な価値」＝「環境倫理」、「人間的価値としての多元的な価値」＝「〈環境道徳〉」であることをとらえ、本文中の図の内容と対応させることができる。 （思）「〈環境道徳〉を育む食」「かけがえのない命が意識される食」の具体的な例を挙げ、筆者の主張に沿って説明することができる。 （学）進んで本文を検討し、考えを整理して学習課題に取り組む。
期末考査後	表現の教材／小論文を書く	（知）小論文の書き方を理解し、論理を組み立てて文章を書くことができる。 （思）自分の書いた文章について論理関係が適切かどうか検討し、必要に応じて修正できる。 （学）主体性をもって粘り強く考えを整理して学習課題に取り組む。

使用教材（教科書・副教材）	教科書：「論理国語」（数研出版）。副教材：「名作を味わう定番小説選」（数研出版）「現代文単語　げんたん　改訂版」（いいずな書店）「大学入試に出た核心漢字２５００＋語彙１０００」（尚文出版）「新訂総合国語便覧」（第一学習社）、「論読現代文２」（浜島書店）
学習方法	予習・授業・復習のサイクルの徹底。 （予習で、本文を読み、わからない言葉を辞書で引いてくる。授業で内容を深く読解し書き手の意図を考える）
評価方法	（知）考査・課題・プリント （思）考査・ノート・プリント・課題等 （学）ノート・プリント・課題や授業への取組み状況等

令和５年度（２０２３年度）　熊本県立人吉高等学校　全日制　シラバス　　一学期

教科	国語	科目（単位数）	古典探究(3)	学年	2	類型	全クラス

学習 目標	（1）文章や図表などに含まれている情報を相互に関係づけながら内容や書き手の意図を解釈する力をつける。・・（知識及び技能） （2）論理的に考える力や、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で、また、古典作品から読み取れる先人のものの見方、感じ方、考え方に触れる中で、自分の思いや考えを広げ、伝え合う力を高める。・・（思考力、判断力、表現力） （3）言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。・・（学びに向かう力、人間性等）

評価基準	**知識・技能**	**①定期考査（知識・技能を問う問題）７割　②小テスト２割　③提出物（ノート、課題）１割**
	思考・判断・表現	**①定期考査（思考、判断、表現を問う問題）７割　②小テスト１割　③提出物（ノート、課題）２割**
	主体的に学習に向かう態度	**①定期考査２割　②小テスト１割　③提出物（ノート、課題）７割**

期間	単元（学習内容）	学習の到達目標
年度初～ １学期 中間考査	古文編 説話/能は歌詠み（古今著聞集）	（知）・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解する。・和歌を含む説話の特徴や，文章の構成について理解する。・和歌の修辞や特色，季節ごとの景物について理解する。・本文中の助動詞の用法や係り結びなどの文法事項を理解する。 （思）・登場人物の言動や心情を読み取る。・文章中に登場する二つの和歌の共通点を読み取る。・大臣と女房の侍に対する対応について考える。 （学）大臣と女房の侍に対する対応の仕方や友則の例は，読み手にどのようなことを考えさせるかを文章にまとめようとする。
	漢文編 小話/「完璧而帰」 （十八史略）	（知）・『十八史略』とその編者について，知識を深める。・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解する。・訓点に従って漢文を読み，書き下し文に直す。・句法の意味・用法を理解する。 （思）・文法事項等を踏まえて逐語訳をする。・藺相如の発言がなされた場面とその意図を理解する。・「完璧」という言葉の背景に物語があったことを理解し，自分のものの見方，感じ方，考え化を深める。 （学）・「完璧」の原義と現在の意味を正しく理解する。
１学期中間～ 期末考査	古文編 随筆/「宮に初めて参りたるころ」（枕草子）	（知）・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解する。・定子の発言に着目して文章の展開を理解する。・本文中の助動詞や敬語の意味や （思）・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳している。 （学）・定子の生涯や後宮で生まれた文化について調べる。
	漢文編 史記Ⅰ「鴻門之会」	（知）・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解する。・訓点に従って漢文を読み，書き下し文に直訳する。・句法の意味・用法を理解する。・言葉の変化や，古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解する。 （思）・文法事項等を踏まえて逐語訳をする。・登場人物を項羽側と沛公側とに分けて整理する。・登場人物のはたらきについて理解する。・「臣死且不避。……不取也。」の樊噲の主張について理解する。・沛公が無事に脱出することができた理由について考える。 （学）・登場人物の性格や人柄について自分の考えを文章にまとめる。
１学期期末後	漢文編 史記Ⅰ「四面楚歌」	（知）・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解している。・「すなはチ」と訓読する文字とその意味について理解する。・訓点に従って漢文を読み，書き下し文に直す。 （思）・文法事項等を踏まえて逐語訳をする。・項羽の軍が四面楚歌の状態であることを把握する。・「楚歌」が項羽を驚かせた理由について理解する。・「力抜山兮気蓋世」の詩にうたわれた項羽の心情について考える。 （学）・四面楚歌の状態となった項羽の行動や心情について自分の考えを文章にまとめる。
	古文編 歌物語/「初冠」(伊勢物語)	（知）・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解する。・歌物語の文章の特徴について理解する。・『伊勢物語』の初段であることを踏まえた文章の構成や展開に着目し，内容を正確に理解する。・和歌の修辞を含めた表現技法について理解する。・本文中の助動詞の意味や助詞の用法などの文法事項を理解する。 （思）・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳する。・「男」の行動を読み取る。・序詞が二首の和歌全体にもたらす効果について理解する。「男」の行動に対する作者の感想を読み取る。 （学）進んで文語の決まりについて理解し，「男」の行動と作者の推測や感想との関係について読み取る。

使用教材（教科書・副教材）	教科書：「精選古典探求」（東京書籍）。副教材：「読解を大切にする体系古典文法九訂版」（数研出版）、「三訂版体系漢文」（数研出版）、「新訂総合国語便覧」（第一学習社）、「Key&Point古文単語３３０」（いいずな書店）、「新訂版力をつける古典ステップ２」（数研出版）「改訂版要点プラス体系古典文法準拠ノート」（数研出版）、「改訂版体系漢文準拠ノート」（数研出版）
学習方法	予習・授業・復習のサイクルの徹底。 （予習で、古文単語を辞書で引き、現代語訳をしてくる。授業で古典文法、漢文句法、現代語訳の仕方等を理解し、覚える。）
評価方法	（知）考査・課題・小テスト （思）考査・ノート・課題等 （学）小テスト・課題や授業への取組み状況等

令和５年度（２０２３年度）　熊本県立人吉高等学校　全日制　シラバス　　２学期

教科	国語	科目（単位数）	古典探究(3)	学年	2	類型	全クラス

学習 目標	（1）文章や図表などに含まれている情報を相互に関係づけながら内容や書き手の意図を解釈する力をつける。・・（知識及び技能） （2）論理的に考える力や、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で、また、古典作品から読み取れる先人のものの見方、感じ方、考え方に触れる中で、自分の思いや考えを広げ、伝え合う力を高める。・・（思考力、判断力、表現力） （3）言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。・・（学びに向かう力、人間性等）

評価基準	知識・技能	①定期考査（知識・技能を問う問題）７割　②小テスト２割　③提出物（ノート、課題）１割
	思考・判断・表現	①定期考査（思考、判断、表現を問う問題）７割　②小テスト１割　③提出物（ノート、課題）２割
	主体的に学習に向かう態度	①定期考査２割　②小テスト１割　③提出物（ノート、課題）７割

期間	単元（学習内容）	学習の到達目標
～中間考査	古文編 随筆「安元の大火」（方丈記）	（知）当時の時刻や方角の表し方を確認する。多彩な表現技法を確認する。焼失範囲を確認する。 （思）第一段落の記述の構成と内容を読み取る。第二段落の作者の主張を読み取る。 （学）文末に回想・伝聞の表現が使われている理由を考える。
	古文編 随筆 「花は盛りに」 （徒然草）	（知）話題とする物事を，段落ごとに自然と人事に分けて整理する。 （思）作者が推賞する花や月の美について理解するとともに，恋のあり方についても読み取る。 （学）構成に注意して，作者の述べるものの見方や感じ方について理解する。
	漢文編 小説「夜行逢鬼」 （太平広記）	（知）本文をすらすらと音読する。 脚注・辞書等を参照して，語句・句法の意味・用法に注意しながら正確に現代語訳し，内容を理解する。宋定伯と鬼の発言や行動を整理し，話の展開をまとめる。 （学）教科書の注釈や便覧などを利用し，『太平広記』について調べる。
中間～期末考査	古文編 物語/「光源氏の誕生」（源氏物語）	（知）敬語について理解する。 （思）全体を通読し，現代語訳をする。物語世界がどのような状況であるかを理解する。 （学）古典の作品や文章などに表れているものの見方，感じ方，考え方を踏まえ，人間，社会，自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。
	古文編 物語/「若紫」（源氏物語）	（知）登場人物について整理し，理解する。 （思）全体を通読し，現代語訳をする。登場人物の描写の特徴を理解する。登場人物の心情を読み取る。 （学）古典の作品や文章などに表れているものの見方，感じ方，考え方を踏まえ，人間，社会，自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。
	漢文編 思想／道家の思想 小国寡民（老子）	（知）本文を声に出してすらすらと読める。 （思）本文を書き下し文にし，現代語訳する。老子の理想とする「小国寡民」とはどのようなものか理解する。 （学）思想家それぞれの重点がどこに置かれているのか，話し合う。
期末後	漢文編 思想／道家の思想 洩尾於塗中（荘子）	（知）本文を声に出してすらすらと読める。 （思）本文を書き下し文にし，現代語訳する。 「曳尾於塗中」に述べられている荘子の生き方を把握する。 （学）思想家それぞれの重点がどこに置かれているのか，話し合う。
	古文編 歴史物語/「鶯宿梅」(大鏡)	（知）登場人物の行動を確認する。 （思）紀貫之の娘や村上天皇の心情を読み取り，繁樹の言いたいことをまとめ，表面上には書かれていない繁樹の心情を推測する。 （学）歴史物語としての『大鏡』の特色を簡略に理解する。

使用教材（教科書・副教材）	教科書：「精選古典探求」（東京書籍）。副教材：「読解を大切にする体系古典文法九訂版」（数研出版）、「三訂版体系漢文」（数研出版）、「新訂総合国語便覧」（第一学習社）、「Key&Point古文単語３３０」（いいずな書店）、「新訂版力をつける古典ステップ２」（数研出版）「改訂版要点プラス体系古典文法準拠ノート」（数研出版）、「改訂版体系漢文準拠ノート」（数研出版）
学習方法	予習・授業・復習のサイクルの徹底。 （予習で、古文単語を辞書で引き、現代語訳をしてくる。授業で古典文法、漢文句法、現代語訳の仕方等を理解し、覚える。）
評価方法	（知）考査・課題・小テスト （思）考査・ノート・課題等 （学）小テスト・課題や授業への取組み状況等

令和５年度（２０２３年度）　熊本県立人吉高等学校　全日制　シラバス

教科	地理歴史	科目（単位数）	地理総合（２）	学年	２	類型	全クラス

学習 目標	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ，課題を追究したり解決したりする活動を通して，広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 （1）地理に関わる諸事象に関して，世界の生活文化の多様性や，防災，地域や地球的課題への取組などを理解するとともに，地図や地理情報システムなどを用いて，調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 （2）地理に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，位置や分布，場所，人間と自然環境との相互依存関係，空間的相互依存作用，地域などに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。 （3）地理に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の国土に対する愛情，世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

評価基準	知識・技能	①定期考査の知識・技能：８割　　②復習テスト：２割
	思考・判断・表現	①定期考査の思考・判断・表現：６割　②ワークシート：２割　③レポート課題：２割
	主体的に学習に向かう態度	①定期考査：２割　②レポート課題・復習テスト：５割　③提出物（ワークシート、課題）：３割

期間	単元（学習内容）	学習の到達目標
１学期	第１編第１章 私たちが暮らす世界	（知）・世界地図や地球儀での表現方法ならびに日本の位置や領域についての基本的な事柄を理解し，その知識を身に付けている。 ・地図や統計・画像などの諸資料を収集し，有用な情報を選択して，読み取ったり図表にまとめたりしている。 （思）・地球上の位置に関する事柄について，緯度・経度や世界地図・地球儀や領域の特徴をふまえて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 （学）・地球上の位置に関する事柄に対する関心と課題意識を高め，それらを意欲的に追究し，とらえようとしている。
	第１編第２章 地図や地理情報システムの役割	（知）・地図についての基本的な事柄を理解し，その知識を身に付けている。 ・地図や統計・画像などの諸資料を収集し，有用な情報を選択して，読み取ったり図表にまとめたりしている。 （思）・さまざまな地図について，縮尺・媒体・用途などに着目し，適切に整理している。 ・さまざまな統計数値を，適切な主題図で表現している。 ・GISを操作し，計測結果や主題図を表示している。 （学）・紙の地図やGISに対する関心を高め，閲覧や作業を通して，それらの特徴をとらえようとしている。
２学期	第１編第３章 資料から読み取る現代世界	（知）・交通・通信技術の発展と国境をこえたさまざまな結び付きについて，基本的な事柄と追究の方法を理解し，その知識を身に付けている。 ・交通・通信手段や貿易構造の変化，世界の国家群の特徴などについて，地図や図表の読み取りを通じて理解を深めている。 ・交通・通信の利用・整備の状況や国境をこえた人・モノ・情報の移動，世界の国家群などについて，地図や統計・画像などの諸資料を収集し，有用な情報を選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。 （思）・交通・情報通信が国境をこえて結び付き，その結び付きがますます強固になっていることについて，地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 ・貿易や観光などにみられる国境をこえたモノや人の動きについて，地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 ・グローバル化の加速によって形成された地域経済圏や国家群について，地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 （学）・交通・通信の発達による社会の変化と，それとともに起こるようになった諸問題に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。 ・グローバル化の進む現代世界において，政治的・経済的な国家間の結び付きが強まっていることに対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。
	第２編第１章 人々の生活文化と多様な地理的環境	（知）・世界にみられる多様な文化について，基本的な事柄と追究の方法を理解し，その知識を身に付けている。 ・さまざまな産業とそれらの分布について基本的な事柄と追究の方法を理解し，その知識を身に付けている。 ・地図や統計・画像などの諸資料を収集し，有用な情報を選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。 （思）・文化の違いがなぜ生じるかということについて，多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 ・世界各地で多様な地形や気候・植生がみられることについて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 ・さまざまな産業の特徴や産業立地，それらの変化について多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 ・地域の文化や人々の暮らし，産業の違いを，それぞれの地域の自然環境との関連に着目しながら多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 （学）・文化の多様性と異なる文化の理解や共存に関して関心と課題意識を高め，それらを意欲的に追究し，とらえようとしている。 ・さまざまな自然環境に対応した人々の生活や産業の工夫について関心と課題意識を高め，それらを意欲的に追究し，とらえようとしている。 ・技術の発展やグローバル化などによってどのように産業が発展・変容してきたかについて，関心と課題意識を高め，それらを意欲的に追究
	第２編第２章 さまざまな地球的課題と国際協力	（知）・さまざまな要因がからむ地球的な課題についての基本的な事柄を理解し，その知識を身に付けている。 ・地図や統計・画像などの諸資料を収集し，有用な情報を選択して，読み取ったり図表にまとめたりしている。 （思）・地球的な課題について，地域性や歴史的背景，日常生活との関連や国際社会の変化をふまえて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 （学）・各国の社会状況にあった具体的な解決が求められる地球的な課題に対する関心を高め，それらを意欲的に追究し，とらえようとしている。
３学期	第３編第１章 自然環境と防災	（知）・変化に富んだ日本列島の自然環境，大きな被害をもたらす自然災害について，基本的な事柄と追究の方法を理解し，その知識を身に付けている。 ・多発している日本列島の自然災害とその克服について，基本的な事柄と追究の方法を理解し，その知識を身に付けている。 ・地図や統計・画像などの諸資料を収集し，有用な情報を選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。 （思）・日本列島の地形や気候と自然災害について，地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 ・日本列島のさまざまな自然災害と防災対策について，地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 （学）・日本列島の豊かな自然環境と近年増大している自然災害に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。 ・深刻な日本列島の自然災害と防災に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。
	第３編第２章 生活圏の調査と地域の展望	（知）・地域調査の手順や注意すべきことを理解している。 ・地図や統計・画像などの諸資料を収集し，有用な情報を選択して，読み取ったり図表にまとめたりしている。 （思）・身近な地域の特徴を，設定したテーマに沿ってとらえ，明らかになったことを適切に表現している。 （学）・身近な地域の特徴を明らかにするために，意欲的に地域調査に取り組もうとしている。

使用教材 （教科書・副教材）	教科書：『地理総合』（東京書籍）、『詳解現代地図最新版』（二宮書店） 副教材：『新課程版サクシード地理2023』（啓隆社）、『新詳地理資料COMPLETE2023』（帝国書院）、『データブック オブ・ザ・ワールド　2023年版』（二宮書店）
学習方法	授業・復習を中心に行う。自らの課題を把握し、課題解決に向けて学習する態度を持ち授業に臨むこと。分からないところをそのままにせず、積極的に質問すること。定期的に復習テストやレポートを課し、評価する。
評価方法	（知）①定期考査の知識・技能：８割　　②復習テスト：２割 （思）①定期考査の思考・判断・表現：６割　②ワークシート：２割　③レポート課題：２割 （学）①定期考査：２割　②レポート課題・復習テスト：５割　③提出物（ワークシート、課題）：３割

令和５年度　熊本県立人吉高等学校　全日制　シラバス

教科	理科	科目（単位数）	歴史総合・日本史（１）	学年	2	類型	全クラス

学習目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動をとおして、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の優位な形成者に必要な公民としての資質・能力の育成を目指す。

評価基準	知識・技能	考査70～80%、小テスト・課題・授業等への取り組み状況20～30%
	思考・判断・表現	考査70～80%、小テスト・課題・授業等への取り組み状況20～30%
	主体的に学習に向かう態度	考査70～80%、小テスト・課題・授業等への取り組み状況（提出物を含む）20～30%

期間	単元（学習内容）	学習の到達目標
１学期	第１章　近代化への胎動	（知）18世紀ごろのアジア諸国と欧米諸国との貿易や国際関係、また両地域における社会・文化に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 （思）18世紀ごろのアジア諸国と欧米諸国との貿易や国際関係、また両地域における社会・文化に関する問いに対して、歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し、複数の根拠を基に判断・表現できている。 （学）18世紀ごろのアジア諸国と欧米諸国との貿易や国際関係、また両地域における社会・文化に関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り、学習改善しようとしている。
	第２章　欧米の市民革命と国民国家の形成	（知）19世紀の欧米諸国における国民国家形成に向けた動き、またイギリスの産業革命をきっかけとした19世紀の世界経済の変化に関する基本的な知識を、我が国の歴史と関連づけて、複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 （思）19世紀の欧米諸国における国民国家形成に向けた動き、またイギリスの産業革命をきっかけとした19世紀の世界経済の変化に関する問いに対して、歴史的なものの見方・考え方に基づいて我が国の歴史と関連づけて思考し、複数の根拠を基に判断・表現できている。 （学）19世紀の欧米諸国における国民国家形成に向けた動き、またイギリスの産業革命をきっかけとした19世紀の世界経済の変化に関する問いに対して、我が国の歴史と関連づけて、粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り、学習改善しようとしている。
	第３章　アジアの変容と日本の近代化	（知）19世紀のアジアや日本に進出した欧米諸国とそれに対するアジア諸国と日本の対応に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 （思）19世紀のアジアや日本に進出した欧米諸国とそれに対するアジア諸国と日本の対応に関する問いに対して、歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し、複数の根拠を基に判断・表現できている。 （学）19世紀のアジアや日本に進出した欧米諸国とそれに対するアジア諸国と日本の対応に関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り、学習改善しようとしている。
２学期	第４章　帝国主義の時代	（知）帝国主義の時代における欧米諸国とアジア・アフリカとの関係、またアジア・日本での国民国家形成の動きに関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 （思）帝国主義の時代における欧米諸国とアジア・アフリカとの関係、またアジア・日本での国民国家形成の動きに関する問いに対して、歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し、複数の根拠を基に判断・表現できている。 （学）帝国主義の時代における欧米諸国とアジア・アフリカとの関係、またアジア・日本での国民国家形成の動きに関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り、学習改善しようとしている。
	第５章　第一次世界大戦と大衆社会	（知）第一次世界大戦をきっかけとした国際関係の変化、また第一次世界大戦後の世界各国の社会の形成に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 （思）第一次世界大戦をきっかけとした国際関係の変化、また第一次世界大戦後の世界各国の社会の形成に関する問いに対して、歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し、複数の根拠を基に判断・表現できている。 （学）第一次世界大戦をきっかけとした国際関係の変化、また第一次世界大戦後の世界各国の社会の形成に関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り、学習改善しようとしている。
	第６章　経済危機と第二次世界大戦	（知）世界恐慌をきっかけとした世界各国の政治的変化、また第二次世界大戦をきっかけとした国際社会の変化に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 （思）世界恐慌をきっかけとした世界各国の政治的変化、また第二次世界大戦をきっかけとした国際社会の変化に関する問いに対して、歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し、複数の根拠を基に判断・表現できている。 （学）世界恐慌をきっかけとした世界各国の政治的変化、また第二次世界大戦をきっかけとした国際社会の変化に関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り、学習改善しようとしている。
３学期	第７章　冷戦と脱植民地化	（知）冷戦下の世界における国際関係の変化、またアジア・アフリカ諸国や日本の動きに関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 （思）冷戦下の世界における国際関係の変化、またアジア・アフリカ諸国や日本の動きに関する問いに対して、歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し、複数の根拠を基に判断・表現できている。 （学）冷戦下の世界における国際関係の変化、またアジア・アフリカ諸国や日本の動きに関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り、学習改善しようとしている。
	第８章　多極化する世界	（知）石油危機をきっかけとした世界経済の変化、また1970年代以降の世界の多極化の動きに関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 （思）石油危機をきっかけとした世界経済の変化、また1970年代以降の世界の多極化の動きに関する問いに対して、歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し、複数の根拠を基に判断・表現できている。 （学）石油危機をきっかけとした世界経済の変化、また1970年代以降の世界の多極化の動きに関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り、学習改善しようとしている。
	第９章　グローバル化と現代世界	（知）知識・技能 冷戦終結後の地域・民族紛争やグローバル化による政治・経済の変化、また現在，世界が直面している課題に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 （思）冷戦終結後の地域・民族紛争やグローバル化による政治・経済の変化、また現在，世界が直面している課題に関する問いに対して、歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し、複数の根拠を基に判断・表現できている。 （学）冷戦終結後の地域・民族紛争やグローバル化による政治・経済の変化、また現在，世界が直面している課題に関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り、学習改善しようとしている。

使用教材（教科書・副教材）	教科書：『詳述歴史総合』（実教出版） 副教材：『詳述歴史総合　マイノート』（実教出版）、『詳述歴史総合　徹底整理演習ノート』（同） 『新詳　歴史総合』（浜島書店）
学習方法	１単位（週１回）の授業ですが、考査、行事や担当者の出張等を考慮すると実際の授業は月に２～３回程度にとどまると思われます（進度予定が大幅に変更される可能性もあります）。それだけに、**予習・授業・復習のサイクルを確実に実行してください。授業は、予習が終わっていることを前提として行われます。**予習時は教科書の熟読や『マイノート』の記入、時には動画視聴などに取り組んでいただきます。そして授業や復習の段階で、歴史を概観しつつその流れの中に重要単語（歴史用語）を位置づけられるような意識を持つとよいでしょう。
評価方法	（知）考査70～80%、小テスト・課題・授業等への取り組み状況20～30% （思）考査70～80%、小テスト・課題・授業等への取り組み状況20～30% （学）考査70～80%、小テスト・課題・授業等への取り組み状況（提出物を含む）20～30% ただし、「歴史総合」の成績は「歴史総合・日本史」と「歴史総合・世界史」の評価と合わせる形で算出されます。

令和５年度（２０２３年度）　熊本県立人吉高等学校　全日制　シラバス

教科	地理歴史	科目（単位数）	歴史総合（2）	学年	2	類型	全クラス

学習目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ，課題を追究したり解決したりする活動を通して，広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

評価基準	知識・技能	考査７割～８割・平常点２割～３割（授業時の板書ノート等）
	思考・判断・表現	考査７割～８割・平常点３割～２割（演習ノート等）
	主体的に学習に向かう態度	考査７割～８割・平常点３割～２割（マイノート等）

期間	単元（学習内容）	学習の到達目標
１学期	第１章　近代化への胎動	（知）18世紀ごろのアジア諸国と欧米諸国との貿易や国際関係，また両地域における社会・文化に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 （思）18世紀ごろのアジア諸国と欧米諸国との貿易や国際関係，また両地域における社会・文化に関する問いに対して，歴史的なものの見 （学）18世紀ごろのアジア諸国と欧米諸国との貿易や国際関係，また両地域における社会・文化に関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。
	第２章　欧米の市民革命と国民国家の形成	（知）19世紀の欧米諸国における国民国家形成に向けた動き，またイギリスの産業革命をきっかけとした19世紀の世界経済の変化に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 （思）19世紀の欧米諸国における国民国家形成に向けた動き，またイギリスの産業革命をきっかけとした19世紀の世界経済の変化に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている。 （学）19世紀の欧米諸国における国民国家形成に向けた動き，またイギリスの産業革命をきっかけとした19世紀の世界経済の変化に関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。
	第３章　アジアの変容と日本の近代化	（知）19世紀のアジアや日本に進出した欧米諸国とそれに対するアジア諸国と日本の対応に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 （思）19世紀のアジアや日本に進出した欧米諸国とそれに対するアジア諸国と日本の対応に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている。 （学）19世紀のアジアや日本に進出した欧米諸国とそれに対するアジア諸国と日本の対応に関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。
２学期	第４章　帝国主義の時代	（知）帝国主義の時代における欧米諸国とアジア・アフリカとの関係，またアジア・日本での国民国家形成の動きに関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 （思）帝国主義の時代における欧米諸国とアジア・アフリカとの関係，またアジア・日本での国民国家形成の動きに関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている。 （学）帝国主義の時代における欧米諸国とアジア・アフリカとの関係，またアジア・日本での国民国家形成の動きに関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。
	第５章　第一次世界大戦と大衆社会	（知）第一次世界大戦をきっかけとした国際関係の変化，また第一次世界大戦後の世界各国の社会の形成に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 （思）第一次世界大戦をきっかけとした国際関係の変化，また第一次世界大戦後の世界各国の社会の形成に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている。 （学）第一次世界大戦をきっかけとした国際関係の変化，また第一次世界大戦後の世界各国の社会の形成に関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。
	第６章　経済危機と第二次世界大戦	（知）世界恐慌をきっかけとした世界各国の政治的変化，また第二次世界大戦をきっかけとした国際社会の変化に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 （思）世界恐慌をきっかけとした世界各国の政治的変化，また第二次世界大戦をきっかけとした国際社会の変化に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている。 （学）世界恐慌をきっかけとした世界各国の政治的変化，また第二次世界大戦をきっかけとした国際社会の変化に関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。
３学期	第７章　冷戦と脱植民地化	（知）冷戦下の世界における国際関係の変化，またアジア・アフリカ諸国や日本の動きに関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 （思）冷戦下の世界における国際関係の変化，またアジア・アフリカ諸国や日本の動きに関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている。 （学）冷戦下の世界における国際関係の変化，またアジア・アフリカ諸国や日本の動きに関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。
	第８章　多極化する世界	（知）石油危機をきっかけとした世界経済の変化，また1970年代以降の世界の多極化の動きに関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 （思）石油危機をきっかけとした世界経済の変化，また1970年代以降の世界の多極化の動きに関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている。 （学）石油危機をきっかけとした世界経済の変化，また1970年代以降の世界の多極化の動きに関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。
	第９章　グローバル化と現代世界	（知）知識・技能 冷戦終結後の地域・民族紛争やグローバル化による政治・経済の変化，また現在，世界が直面している課題に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 （思）冷戦終結後の地域・民族紛争やグローバル化による政治・経済の変化，また現在，世界が直面している課題に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている。 （学）冷戦終結後の地域・民族紛争やグローバル化による政治・経済の変化，また現在，世界が直面している課題に関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。

使用教材（教科書・副教材）	教科書：『詳述歴史総合』（実教出版） 副教材：『詳述歴史総合　マイノート』（実教出版）、『詳述歴史総合　徹底整理演習ノート』（同） 『新詳　歴史総合』（浜島書店）
学習方法	１単位（週１回）の授業ですが、考査、行事や担当者の出張等を考慮すると実際の授業は月に２～３回程度にとどまると思われます。（進度予定が大幅に変更される可能性もあります）。それだけに、**予習・授業・復習のサイクルを確実に実行**してください。**授業は、予習が終わっていることを前提として行われます**。予習時は教科書の熟読や『マイノート』の記入、時には動画視聴などに取り組んでいただきます。そして授業や復習の段階で、歴史を概観しつつその流れの中に重要単語（歴史用語）を位置づけられるよな意識を持つとよいでしょう。
評価方法	「歴史総合」の成績は「歴総合・日本史」と「歴史総合・世界史」の評価を合わせる形で算出されます。 （知）考査７割～８割・平常点２割～３割（授業時の板書ノート等） （思）考査７割～８割・平常点３割～２割（演習ノート等） （学）考査７割～８割・平常点３割～２割（マイノート等）

令和５年度（２０２３年度）　熊本県立人吉高等学校　全日制　シラバス

教科	数学	科目（単位数）	数学Ⅱ(2)、数学Ａ(1)、数学Ｂ(1)、数学Ｃ(1)	学年	2	類型	文系コース

学習 目標	数学的な見方・考え方を働かせ，数学的活動を通して，次のような数学的に考える資質・能力を身に付ける ・基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能 ・数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力 ・図形の構成要素間の関係に着目し，論理的に考察し表現する力 ・社会の事象などから設定した問題について，適切な手法を選択して分析を行い，問題を解決したり，解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力 ・数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度 ・粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度

評価基準	**知識・技能**	**考査７割～８割・小テスト２割～１割・課題等２割～１割**
	思考・判断・表現	**考査７割～８割・ノート（プリント）等３割～２割**
	主体的に学習に向かう態度	**考査７割～８割・小テスト２割～１割・課題や授業への取組み状況等２割～１割**

期間	単元（学習内容）	学習の到達目標
年度初～ １学期 中間考査	数Ⅱ　第３章 図形と方程式	（知）座標を用いて，平面上の線分を内分する・，外分する点の位置や二点間の距離を求めることができる。 （思）座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し，それを方程式を用いて表現し，図形の性質や位置関係について考察する。 （学）数学の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとする。
１学期中間～ 期末考査	数C　第１章 平面上のベクトル	（知）平面上のベクトルの意味，相等，和，差，実数倍，位置ベクトル，ベクトルの成分表示について理解する。 （思）実数などの演算の法則と関連付けて，ベクトルの演算法則を考察する。 （学）問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする。
	数C　第２章 空間のベクトル	（知）ベクトルの内積及びその基本的な性質について理解する。 （思）ベクトルやその内積に基本的な性質などを用いて，平面付嫌空間図形の性質を見出したり，多面的に考察したりする。 （学）粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとする。
１学期期末 ～２学期 中間考査	数A　第３章 数学と人間の活動	（知）数量や図形に関する概念などと，数学的に解釈することのかかわりについて関りについて理解する。 （思）数量や図形に関する概念などを，関心に基づいて発展させ考察する。 （学）問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする。
	数B　第１章 数列	（知）等差数列と等比数列について理解し，それらの一般項や和を求めることができる。 （思）自然数の性質などを見いだし，それらを数学的帰納法を用いて証明するとともに，他の証明方法と比較し多面的に考察する。 （学）数学の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとする。
２学期中間～ 期末考査	数Ⅱ　第１章 微分法と積分法	（知）導関数を用いて関数の値の増減や極大・極小を調べ，グラフの概形をかく方法を理解する。 （思）関数とその導関数との関係について考察する。 （学）問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする。
	数B　第４章 統計的な推測	（知）標本調査の考え方について理解を深める。 （思）確率分布や標本分布の特徴を，確率変数の平均，分散，標準偏差などを用いて考察する。 （学）数学の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとする。
２学期期末 ～３学期 学年末考査	数学ⅠⅡABC総復習	（知）数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。 （思）数学を活用して事象を論理的に考察する力，事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する。 （学）数学のよさを認識し，せっきょ０区的に数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする。
３学期 学年末考査 ～年度末	数学ⅠⅡABC総復習	（知）数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。 （思）数学を活用して事象を論理的に考察する力，事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する。 （学）数学のよさを認識し，せっきょ０区的に数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする。

使用教材 （教科書・副教材）	教科書：「高等学校数学Ⅱ・Ａ・Ｂ・Ｃ」（数研出版），副教材：「チャート式基礎からの数学Ⅱ＋Ｂ　および　数学Ｃ」
学習方法	予習・授業・復習のサイクルの徹底。 （教科書の練習問題等を自分で解けるようになるまで取り組む。）
評価方法	（知）考査・小テスト・課題等 （思）考査・ノート（プリント）等 （学）考査・小テスト・課題や授業への取組み状況等

令和５年度（２０２３年度）　熊本県立人吉高等学校　全日制　シラバス

教科	数学	科目（単位数）	数学Ⅱ(2)、数学Ⅲ(1)、数学Ａ(1)、数学Ｂ(1)、数学Ｃ(1)	学年	2	類型	理系コース

学習目標	数学的な見方・考え方を働かせ，数学的活動を通して，次のような数学的に考える資質・能力を身に付ける ・基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能 ・数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力 ・図形の構成要素間の関係に着目し，論理的に考察し表現する力 ・社会の事象などから設定した問題について，適切な手法を選択して分析を行い，問題を解決したり，解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力 ・数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度 ・粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度

評価基準	**知識・技能**	**考査７割～８割・小テスト２割～１割・課題等２割～１割**
	思考・判断・表現	**考査７割～８割・ノート（プリント）等３割～２割**
	主体的に学習に向かう態度	**考査７割～８割・小テスト２割～１割・課題や授業への取組み状況等２割～１割**

期間	単元（学習内容）	学習の到達目標
年度初～ １学期 中間考査	数Ⅰ　第１章 数と式	（知）数を実数まで拡張する意義，不等式の解の意味や不等式の性質について理解する。 （思）不等式の性質を基に一次不等式を解く方法を考察する。 （学）数学の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとする。
１学期中間 ～期末考査	数Ⅰ　第３章 2次関数	（知）二次関数の値の変化やグラフの特徴を理解する。 （思）二次関数の式とグラフとの関係について，コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察する。 （学）問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする。
	数Ⅰ　第２章 集合と命題	（知）集合と命題に関する基本的な概念について理解する。 （思）集合の考えを用いて論理的に考察し，簡単な命題を証明できる。 （学）粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとする。
１学期期末 ～２学期 中間考査	数Ａ　第１章 場合の数と確率	（知）具体的な事象を基に順列及び組合せの意味を理解し，順列の総数や組合せの総数を求めることができる。 独立な試行の意味を理解し，独立な試行の確率を求めることができる。 （思）確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断したり，期待値を意思決定に活用したりする。 （学）問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする。
	数Ⅰ　第５章 データの分析	（知）分散，標準偏差，散布図及び相関係数の意味やその用い方を理解する。 （思）目的に応じて複数の種類のデータを収集し，適切な統計量やグラフ，手法などを選択して分析を行い，データの傾向を把握して事象の特徴を表現する。 （学）数学の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとする。
２学期中間 ～期末考査	数Ⅰ　第４章 図形の計量	（知）正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解する。三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めることができる。 （思）図形の構成要素間の関係に着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，問題を解決したり，解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりする。 （学）問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする。
	数Ⅱ　第４章 三角関数	（知）角の概念を一般角まで拡張する意義や弧度法による角度の表し方，三角関数の値の変化やグラフの特徴について理解する。 （思）三角関数の式とグラフの関係について多面的に考察する。 （学）数学の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとする。
２学期期末 ～３学期 学年末考査	数Ⅱ　第５章 指数関数と対数関数	（知）指数関数の値の変化やグラフの特徴や対数の意味とその基本的な性質について理解し，簡単な対数の計算ができる。 （思）指数関数及び対数関数の式とグラフの関係について，多面的に考察する。 （学）問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする。
３学期 学年末考査 ～年度末	数Ⅱ　第１章 式と証明	（知）三次の乗法公式及び因数分解の公式を理解し，それらを用いて式の展開や因数分解できる。二次方程式の解の種類の判別及び解と係数の （思）日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，方程式を問題解決に活用する。 （学）数学の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとする。
	数Ⅱ　第２章 複素数と方程式	（知）因数定理について理解し，簡単な高次方程式について因数定理などを用いてその解を求めることができる。 （思）式の計算の方法を既に学習した数や式の計算と関連付け多面的に考察する。 （学）数学の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとする。
年度初～ １学期 中間考査	数Ⅱ　第３章 図形と方程式	（知）座標を用いて，平面上の線分を内分する・，外分する点の位置や二点間の距離を求めることができる。 （思）座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し，それを方程式を用いて表現し，図形の性質や位置関係について考察する。 （学）数学の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとする。
１学期中間 ～期末考査	数Ｃ　第１章 平面上のベクトル	（知）平面上のベクトルの意味，相等，和，差，実数倍，位置ベクトル，ベクトルの成分表示について理解する。 （思）実数などの演算の法則と関連付けて，ベクトルの演算法則を考察する。 （学）問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする。
	数Ｃ　第２章 空間のベクトル	（知）ベクトルの内積及びその基本的な性質について理解する。 （思）ベクトルやその内積に基本的な性質などを用いて，平面付録空間図形の性質を見出したり，多面的に考察したりする。 （学）粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとする。
	数Ａ　第３章 数学と人間の活動	（知）数量や図形に関する概念などと，数学的に解釈することのかかわりについて関りについて理解する。 （思）数量や図形に関する概念などを，関心に基づいて発展させ考察する。 （学）問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする。
１学期期末 ～２学期 中間考査	数Ｂ　第１章 数列	（知）等差数列と等比数列について理解し，それらの一般項や和を求めることができる。 （思）自然数の性質などを見いだし，それらを数学的帰納法を用いて証明するとともに，他の証明方法と比較し多面的に考察する。 （学）数学の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとする。
２学期中間 ～期末考査	数Ⅱ　第１章 微分法と積分法	（知）導関数を用いて関数の値の増減や極大・極小を調べ，グラフの概形をかく方法を理解する。 （思）関数とその導関数との関係について考察する。 （学）問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする。
	数Ｂ　第４章 統計的な推測	（知）標本調査の考え方について理解を深める。 （思）確率分布や標本分布の特徴を，確率変数の平均，分散，標準偏差などを用いて考察する。 （学）数学の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとする。
２学期期末 ～３学期 学年末考査	数学Ⅲ　第１章 関数	（知）簡単な分数関数と無理関数の値の変化やグラフの特徴について理解する。 （思）既に学習した関数の性質と関連付けて，簡単な分数関数と無理関数のグラフの特徴を多面的に考察する。 （学）問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする。
３学期 学年末考査 ～年度末	数学Ⅲ　第２章 極限	（知）数列の極限について理解し，数列｛ｒ-｝の極限などを基に簡単な数列の極限を求めることができる。 （思）式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりして，極限を求める方法を考察する。 （学）数学の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとする。
３学期 学年末考査 ～年度末	数学Ⅲ　第３章 微分法	（知）微分の可能性，関数の積及び商の導関数について理解し，関数の和，差，積及び商の導関数を求めることができる。 （思）関数の連続性と微分可能性，関数とその導関数や二次導関数の関係について考察する。 （学）問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする。
	数学Ⅲ　第４章 微分法の応用	（知）導関数を用いて，いろいろな曲線の接線の方程式を求めたり，いろいろな関数の値の増減，極大・極小，グラフの凹凸などを調べグラフ （思）関数の局所的な変化や大域的な変化に着目し，事象を数学的に捉え問題を解決したり，解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他 （学）数学の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとする。
	数学Ⅲ　第５章 積分法とその応用	（知）置換積分法及び部分積分法について理解し，簡単な場合について，それらを用いて不定積分や定積分を求めることができる。 （思）関数の式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりして，いろいろな関数の不定積分や定積分を求める方法について考察する。 （学）問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする。
	数学Ｃ　第３章 複素数平面	（知）置換積分法及び部分積分法について理解し，簡単な場合について，それらを用いて不定積分や定積分を求めることができる。 （思）関数の式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりして，いろいろな関数の不定積分や定積分を求める方法について考察する。 （学）問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする。
	数学Ｃ　第４章 式と曲線	（知）置換積分法及び部分積分法について理解し，簡単な場合について，それらを用いて不定積分や定積分を求めることができる。 （思）関数の式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりして，いろいろな関数の不定積分や定積分を求める方法について考察する。 （学）問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする。

使用教材 （教科書・副教材）	教科書：「高等学校数学Ⅱ・Ⅲ・Ａ・Ｂ・Ｃ」（数研出版），副教材：「チャート式基礎からの数学Ⅱ＋Ｂ　および　数学Ⅲ＋Ｃ」
学習方法	予習・授業・復習のサイクルの徹底。 （教科書の練習問題等を自分で解けるようになるまで取り組む。）
評価方法	（知）考査・小テスト・課題等 （思）考査・ノート（プリント）等 （学）考査・小テスト・課題や授業への取組み状況等

令和５年度　熊本県立人吉高等学校　全日制　シラバス

教科	理科	科目（単位数）	物理基礎（２）・物理（２）	学年	2	類型	理系

学習 目標	物理や物理現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物理的な事物・現象を科学的に探究するために必要な、次のような資質・能力を育成する。 （１）物理の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能 （２）観察、実験などを行い、科学的に探究する力 （３）物理的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度

評価基準	知識・技能	考査７割～８割、小テスト・課題・授業等への取り組み状況２割～３割
	思考・判断・表現	考査７割～８割、小テスト・課題・授業等への取り組み状況２割～３割
	主体的に学習に向かう態度	考査７割～８割、小テスト・課題・授業等への取り組み状況２割～３割

期間	単元（学習内容）	学習の到達目標
～１学期 中間考査	総合物理① 第１編　力と運動 第１章　運動の表し方	（知）等加速度直線運動について、物体にはたらく力を理解し、式やグラフを適切に運用できる。
		（思）相対速度について説明できる。 等加速度直線運動する物体の様子について説明できる。 水平投射や斜方投射の運動の様子を鉛直方向と水平方向に分けて説明できる。
		（学）日常の運動から速さ、時間、距離についての関係に興味を持ち、速さと速度の違いや、相対速度の意味や使い方を理解しようとしている。 落体の運動、特に水平投射や斜方投射について運動の状態がどのようになっているか理解しようとしている。
～１学期 期末考査	総合物理① 第１編　力と運動 第２章　運動の法則	（知）物体が力を受けるとき、運動状態はどのようになるかを指摘できる。 さまざまな運動をしている物体について運動方程式を立てて考えることができる。 力のモーメントについて理解している。
		（思）グラフから適切な値を読み取ることができる。 作用反作用の２力とつりあいの２力の違いを理解し、説明できる。 運動方程式を理解し、問題解決にあたって式の運用が正しくできる。
		（学）見ること、触ることができない力に対して、どのようにして力の存在がわかるのか、また、力にはどのような種類があるのかについて考えようとしている。 物体の運動状態は受ける力とどのような関係にあるかについて興味・関心を持ち、理解しようとしている。
～２学期 中間考査	総合物理① 第１編　力と運動 第３章　仕事と力学的エネルギー 第４章　運動量の保存	（知）運動エネルギー、位置エネルギーについて定義を正しく理解し、計算できる。 直線運動、平面運動における運動量保存則を式で表現できる。
		（思）エネルギーの定義について説明できる。 運動エネルギー変化は物体がされた仕事に等しいことを用いて物体の運動を説明できる。 力学的エネルギー保存則、運動量保存則について成立する条件を説明できる。
		（学）エネルギーは仕事をする能力を秘めていることに興味を持ち、理解しようとしている。 力学的エネルギー保存則について興味関心をもち、身のまわりの現象と結びつけて考えようとしている。
～２学期 期末考査	総合物理① 第１編　力と運動 第５章　円運動と万有引力 第２編　熱と気体 第１章　熱と物質	（知）等速直線運動や単振動においてはたらく力や速度、加速度について理解している。 慣性力を含めたつりあいの式を立てることができる。 ケプラーの法則や万有引力の式を理解している。 熱量の保存について理解し、式を立てることができる。
		（思）等速円運動や単振動に必要な力について説明できる。 慣性力と他の力の違いについて理解し、説明できる。 温度や熱容量、比熱について言葉で説明できる。
		（学）単振動の周期と質量や糸の長さの関係を調べるための実験に意欲をもって参加しようとしている。 慣性力の向きや大きさについて興味をもち、慣性力を考える物体の運動について理解しようとしている。 比熱を調べる実験に意欲をもって参加しようとしている。
～３学期 学年末考査	総合物理① 第２編　熱と気体 第２章 気体のエネルギーと状態変化 総合物理② 第３編　波 第１章　波の性質 第２章　音 第３章　光	（知）理想気体の状態方程式を用いることができる。 気体が面に力を及ぼすことから圧力の式を導くことができる。 波の発生原理や基本事項を理解している。 ドップラー効果の式を用いて観測者が聞く音の振動数を求めることができる。
		（思）平均運動エネルギーと絶対温度の関係について説明できる。 気体の状態変化と気体がされた仕事について説明できる。 波の基本事項について説明できる。
～年度末		（学）気体の圧力、体積、温度を変化させるとき、これらの稜にどのような関係が成り立っているか考察しようとしている。 気体分子がもつミクロな量とマクロな量について興味関心を持っている。 正弦波を数式で表す方法について理解しようとしている。 光や音などの身近な波の現象に興味を持ち、波の発生原理や基本事項について理解しようとしている。

使用教材 （教科書・副教材）	教科書：「総合物理①」「総合物理②」（数研出版） 資料集：「新課程フォトサイエンス物理図録」（数研出版） 問題集：「セミナー物理基礎＋物理２０２３」（第一学習社） 「進研WINSTEP」（Learns）
学習方法	授業中における課題と復習に重点的に取り組むこと。予習を課していない分、授業への取り組み方で大きく成績が変動してしまうので、積極的に授業に参加すること。定期的に小テストや課題を課し、評価する。
評価方法	（知）考査７割～８割、小テスト・課題・授業等への取り組み状況２割～３割 （思）考査７割～８割、小テスト・課題・授業等への取り組み状況２割～３割 （学）考査７割～８割、小テスト・課題・授業等への取り組み状況２割～３割

令和５年度（２０２３年度）　熊本県立人吉高等学校　全日制　シラバス

教科	理科	科目（単位数）	化学（３）	学年	2	類型	理系　４・５・６組

学習目標	日常生活や社会との関連を図りながら，物質とその変化について理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付け、科学的に探究する力と態度を身につける。

評価基準	知識・技能	①定期考査の知識・技能：６割　②小テスト：２割　③各課題：２割
	思考・判断・表現	①定期考査の思考・判断・表現：６割　②小テスト・ワークシート：２割　③各課題：２割
	主体的に学習に向かう態度	①定期考査：４割　②小テスト・ワークシート：３割　③各課題：３割
期間	単元（学習内容）	学習の到達目標
1学期中間考査	２編２章 電池と電気分解	【知】化学反応とエネルギーについての実験などを通して，電池，電気分解の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。
		【思】電池，電気分解について，問題を見いだし見通しをもって実験などを行い，科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。
		【態】電池，電気分解について主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。
	１章１章 物質の状態	【知】物質の状態とその変化についての実験などを通して，状態変化の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。
		【思】状態変化について，問題を見いだし見通しをもって実験などを行い，科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。
		【態】状態変化について主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。
1学期期末考査	１編２章 気体の性質	【知】物質の状態とその変化についての実験などを通して，気体の性質の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。
		【思】気体の性質について，問題を見いだし見通しをもって実験などを行い，科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。
		【態】気体の性質について主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。
	１編３章 溶液の性質	【知】溶液と平衡についての実験などを通して，溶解平衡および溶液とその性質の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。
		【思】溶解平衡および溶液とその性質について，問題を見いだし見通しをもって実験などを行い，科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。
		【態】溶解平衡および溶液とその性質について主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。
	１編４章 固体の構造	【知】物質の状態とその変化についての実験などを通して，固体の構造の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。
		【思】固体の構造について，問題を見いだし見通しをもって実験などを行い，科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。
		【態】固体の構造について主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。
2学期中間考査	１編４章 固体の構造	【知】物質の状態とその変化についての実験などを通して，固体の構造の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。
		【思】固体の構造について，問題を見いだし見通しをもって実験などを行い，科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。
		【態】固体の構造について主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。
	２編１章 化学反応と熱・光	【知】化学反応とエネルギーについての実験などを通して，化学反応と熱・光の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。
		【思】化学反応と熱・光について，問題を見いだし見通しをもって実験などを行い，科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。
		【態】化学反応と熱・光について主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。
2学期期末考査	３編１章 化学反応の速さ	【知】化学反応と化学平衡についての実験などを通して，反応速度の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。
		【思】反応速度について，問題を見いだし見通しをもって実験などを行い，科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。
		【態】反応速度について主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。
	３編２章 化学平衡	【知】化学反応と化学平衡についての実験などを通して，化学平衡とその移動の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。
		【思】化学平衡とその移動について，問題を見いだし見通しをもって実験などを行い，科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。
		【態】化学平衡とその移動について主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。
学年末考査	３編３章 水溶液中の化学平衡	【知】化学反応と化学平衡についての実験などを通して，電離平衡の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。
		【思】電離平衡について，問題を見いだし見通しをもって実験などを行い，科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。
		【態】電離平衡について主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。
	５編１章 有機化合物の特徴と構造	【知】有機化合物についての実験などを通して，その基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。
		【思】有機化合物について，問題を見いだし見通しをもって実験などを行い，科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。
		【態】有機化合物について主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。
	５編２章 炭化水素	【知】有機化合物についての実験などを通して，炭化水素の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。
		【思】炭化水素について，問題を見いだし見通しをもって実験などを行い，科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。
		【態】炭化水素について主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。

使用教材（教科書・副教材）	教科書：「化学 Vol.1 理論編」「化学 Vol.2 物質編」（東京書籍），副教材：「リードα化学基礎＋化学(数研出版)」
学習方法	授業・復習のサイクル（教科書や問題集の基本問題を自分で解けるようになるまで取り組む。
評価方法	（知）定期考査・確認テスト・章末テスト（思）定期考査・実験プリント（レポート）・課題プリントなど（態）確認テスト・課題や授業への取組み状況等

令和５年度　熊本県立人吉高等学校　全日制　シラバス

教科	理科	科目（単位数）	生物基礎（２）	学年	2	類型	文系

学習 目標	生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な、次のような資質・能力を育成する。 （１）日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解し、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能 （２）観察、実験などを行い、科学的に探究する力 （３）生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度 （４）生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度

評価基準	知識・技能	考査７割～８割、小テスト・課題・授業等への取り組み状況２割～３割
	思考・判断・表現	考査７割～８割、小テスト・課題・授業等への取り組み状況２割～３割
	主体的に学習に向かう態度	考査７割～８割、小テスト・課題・授業等への取り組み状況２割～３割

期間	単元（学習内容）	学習の到達目標
～１学期 中間考査	第１章 生物の特徴	（知）生物は多様でありながら共通性をもっており、生物が代謝によってエネルギーを取り出して活動していることを理解する。 （思）多様な生物の共通性を根拠に、生物と無生物の違いについて考察することができる。 （学）日常生活や社会と関連させて、科学的な見方や考え方で課題を解決しようとする。
～１学期 期末考査	第２章 遺伝子とそのはたらき	（知）ＤＮＡが遺伝情報を担う物質であり、その複製・分配によって遺伝情報が伝えられ、その情報をもとにタンパク質が合成されることを理解する。 （思）ＤＮＡの遺伝情報の違いと個体の形質の違いの関係性ついて考察することができる。 （学）日常生活や社会と関連させて、科学的な見方や考え方で課題を解決しようとする。
～２学期 中間考査	第３章 ヒトの体内環境の維持 １．体内での情報伝達と調節 ２．体内環境の維持のしくみ	（知）生物には体内環境を維持する仕組みがあり、自律神経とホルモンがかかわっていることを理解する。 （思）体内環境を維持するための血液の役割や、自律神経系と内分泌系の協働について考察することができる。 （学）日常生活や社会と関連させて、科学的な見方や考え方で課題を解決しようとする。
～２学期 期末考査	第３章 ヒトの体内環境の維持 ３．免疫のはたらき	（知）免疫とそれにかかわる細胞のはたらきについて理解する。 （思）免疫のしくみを利用したインフルエンザの予防接種や血清療法について考察することができる。 （学）日常生活や社会と関連させて、科学的な見方や考え方で課題を解決しようとする。
～３学期 学年末考査	第４章 生物の多様性と生態系 １．植生と遷移 ２．植生の分布とバイオーム	（知）陸上には様々な植生がありそれらは移り変わっていくことを理解する。 気候を反映して様々なバイオームが成立することを理解する。 （思）植生遷移の方向性について考察することができる。 気候の変化がバイオームに及ぼす影響について考察することができる。 （学）日常生活や社会と関連させて、科学的な見方や考え方で課題を解決しようとする。
～年度末	第４章 生物の多様性と生態系 ３．生態系と生物の多様性 ４．生態系のバランスと保全	（知）生態系における物質の循環とともにエネルギーが移動することを理解する。 生態系のバランスについて理解する。 （思）科学的な知識を基に、環境問題と生態系の保全の重要性について考察することができる。 （学）日常生活や社会と関連させて、科学的な見方や考え方で課題を解決しようとする。

使用教材 （教科書・副教材）	教科書：「生物基礎」（数研出版） 資料集：「新課程フォトサイエンス生物図録」（数研出版） 問題集：「新課程生物基礎アクティブブック」（数研出版）、「リードLightノート生物基礎」（数研出版）
学習方法	授業・復習を中心に行う。授業は解説と問題演習を５：５で行う。問題演習を通して自らの課題を把握し、課題解決に向けて学習する態度を持ち授業に臨むこと。分からないところをそのままにせず、積極的に質問すること。定期的に小テストやレポートを課し、評価する。
評価方法	（知）考査７割～８割、小テスト・課題・授業等への取り組み状況２割～３割 （思）考査７割～８割、小テスト・課題・授業等への取り組み状況２割～３割 （学）考査７割～８割、小テスト・課題・授業等への取り組み状況２割～３割

令和５年度　熊本県立人吉高等学校　全日制　シラバス

教科	理科	科目（単位数）	生物基礎（２）・生物（２）	学年	2	類型	理系

学習 目標	生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な、次のような資質・能力を育成する。 （１）生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能 （２）観察、実験などを行い、科学的に探究する力 （３）生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度 （４）生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度

評価基準	知識・技能	考査７割～８割、小テスト・課題・授業等への取り組み状況２割～３割
	思考・判断・表現	考査７割～８割、小テスト・課題・授業等への取り組み状況２割～３割
	主体的に学習に向かう態度	考査７割～８割、小テスト・課題・授業等への取り組み状況２割～３割

期間	単元（学習内容）	学習の到達目標
～１学期 中間考査	生物基礎 第１章 生物の特徴	（知）生物は多様でありながら共通性をもっており、生物が代謝によってエネルギーを取り出して活動していることを理解する。 （思）多様な生物の共通性を根拠に、生物と無生物の違いについて考察することができる。 （学）日常生活や社会と関連させて、科学的な見方や考え方で課題を解決しようとする。
	生物基礎 第２章 遺伝子とそのはたらき	（知）ＤＮＡが遺伝情報を担う物質であり、その複製・分配によって遺伝情報が伝えられ、その情報をもとにタンパク質が合成されることを理解する。 （思）ＤＮＡの遺伝情報の違いと個体の形質の違いの関係性ついて考察することができる。 （学）日常生活や社会と関連させて、科学的な見方や考え方で課題を解決しようとする。
～１学期 期末考査	生物基礎 第３章 ヒトの体内環境の維持	（知）生物には体内環境を維持する仕組みがあること及び免疫の仕組みについて理解する。 （思）体内環境を維持するための血液の役割や、自律神経系と内分泌系の協働について考察することができる。 免疫のしくみを利用したインフルエンザの予防接種や血清療法について考察することができる。 （学）日常生活や社会と関連させて、科学的な見方や考え方で課題を解決しようとする。
～２学期 中間考査	生物基礎 第４章 生物の多様性と生態系	（知）陸上には様々な植生がありそれらは移り変わっていくこと、気候を反映して様々なバイオームが成立することを理解する。 生態系における物質の循環とともにエネルギーが移動すること、生態系のバランスについて理解する。 （思）植生遷移の方向性と、気候の変化がバイオームに及ぼす影響について考察することができる。 科学的な知識を基に、環境問題と生態系の保全の重要性について考察することができる。 （学）日常生活や社会と関連させて、科学的な見方や考え方で課題を解決しようとする。
～２学期 期末考査	生物 第１章 生物の進化	（知）生命の起源や生物が進化してきた道筋について、進化の仕組みと合わせて理解する。 （思）生命の誕生とその後の生物進化を環境条件の変化と関連づけて考察することができる。 （学）日常生活や社会と関連させて、科学的な見方や考え方で課題を解決しようとする。
～３学期 学年末考査	生物 第２章 細胞と分子	（知）細胞の内部構造とそれを構成する物質の特徴について理解する。 生命現象におけるタンパク質の重要性について理解する。 （思）細胞の内部構造とその機能について説明することができる。 タンパク質の立体構造と、タンパク質が生命活動で果たす役割について考察することができる。 （学）日常生活や社会と関連させて、科学的な見方や考え方で課題を解決しようとする。
～年度末	生物 第３章 代謝	（知）呼吸、光合成におけるエネルギーの変換の仕組みと窒素同化の概要について理解する。 （思）呼吸、光合成、窒素同化の概要と生態系内での役割について説明することができる。 （学）日常生活や社会と関連させて、科学的な見方や考え方で課題を解決しようとする。

使用教材 （教科書・副教材）	教科書：「生物基礎」「生物」（数研出版） 資料集：「新課程フォトサイエンス生物図録」（数研出版） 問題集：「新課程生物基礎アクティブブック」（数研出版）、「リードLightノート生物基礎」「リードLightノート生物」（数研出版） 「センサー総合生物」（啓林館）
学習方法	授業・復習を中心に行う。授業の中で問題演習を扱う。問題演習を通して自らの課題を把握し、課題解決に向けて学習する態度を持ち授業に臨むこと。分からないところをそのままにせず、積極的に質問すること。定期的に小テストやレポートを課し、評価する。
評価方法	（知）考査７割～８割、小テスト・課題・授業等への取り組み状況２割～３割 （思）考査７割～８割、小テスト・課題・授業等への取り組み状況２割～３割 （学）考査７割～８割、小テスト・課題・授業等への取り組み状況２割～３割

令和５年度　熊本県立人吉高等学校　全日制　シラバス

教科	理科	科目（単位数）	地学基礎（２）	学年	2	類型	文系

学習 目標	地球や地球を取り巻く環境に関する基本的な概念や原理・法則を理解させ、地学的な探究の方法を身につけさせるようにするとともに、地球の自然環境と日常生活や社会との関わりを考えることができるようにする。

評価基準	知識・技能	考査７割～８割、小テスト・課題・授業等への取り組み状況２割～３割
	思考・判断・表現	考査７割～８割、小テスト・課題・授業等への取り組み状況２割～３割
	主体的に学習に向かう態度	考査７割～８割、小テスト・課題・授業等への取り組み状況２割～３割

期間	単元（学習内容）	学習の到達目標
～１学期 中間考査	第１編　活動する地球 第１章 １地球の形と大きさ ２地球の構造	（知）古代の地球の形と大きさの測定法を理解する。 （思）異なる２つの説から地球の形は楕円体であることについて考察することができる。 （学）日常生活や社会と関連させて、科学的な見方や考え方で課題を解決しようとする。
～１学期 期末考査	第２章　プレートの運動 １プレートテクトニクスと地殻変動 ２プレート運動のしかた 第３章　地震 １地震　２地震の分布　３地震災害 第４章　火山 １火山活動　２火成岩 ３火山がもたらす恵みと災害	（知）プレートの動きと地震活動・火山活動について理解する。 （思）地震災害や火山災害の具体例を通して、防災意識を向上させる。 （学）日常生活や社会と関連させて、科学的な見方や考え方で課題を解決しようとする。
～２学期 中間考査	第２編　移り変わる地球 第１章　地層の形成 １堆積作用と堆積岩 ２地層の形成	（知）風化、侵食、堆積作用と地形との関係を理解する。 （思）地層累重の法則や堆積構造をもとに、堆積環境について考察することができる。 （学）日常生活や社会と関連させて、科学的な見方や考え方で課題を解決しようとする。
～２学期 期末考査	第２章　古生物の変遷と地球環境 １化石と地質時代の区分 ２古生物の変遷	（知）化石の意義を理解し地層の対比を行い、地質時代を理解する。 （思）地球誕生以来の地球の歴史や生物の進化と地球環境の変化について考察することができる。 （学）日常生活や社会と関連させて、科学的な見方や考え方で課題を解決しようとする。
～３学期 学年末考査	第３編　大気と海洋 第１章　地球の熱収支 １大気の構造 ２地球全体の熱収支	（知）大気の組成と気圧および大気の層構造と特徴を理解する。 （思）地球のエネルギー収支と温室効果について考察することができる。 （学）日常生活や社会と関連させて、科学的な見方や考え方で課題を解決しようとする。
～年度末	第２章　大気・海水の運動 １大気の大循環 ２海水の運動 ３日本の天気と気象災害	（知）熱の輸送と大気の大循環の関係を理解し、風吹き方を知る。 （思）熱の輸送と大気や海水の大循環の関係を通して風吹き方やについて各季節の特徴を考察することができる。 （学）日常生活や社会と関連させて、科学的な見方や考え方で課題を解決しようとする。

使用教材 （教科書・副教材）	教科書：「地学基礎」（数研出版） 資料集：「ニューステージ新訂地学図表」（浜島） 問題集：「地学基礎研究ノート」（博洋社）
学習方法	授業・復習を中心に行う。授業は解説と問題演習を５：５で行う。問題演習を通して自らの課題を把握し、課題解決に向けて学習する態度を持ち授業に臨むこと。分からないところをそのままにせず、積極的に質問すること。定期的に小テストやレポートを課し、評価する。
評価方法	（知）考査７割～８割、小テスト・課題・授業等への取り組み状況２割～３割 （思）考査７割～８割、小テスト・課題・授業等への取り組み状況２割～３割 （学）考査７割～８割、小テスト・課題・授業等への取り組み状況２割～３割

令和５年度（２０２３年度）　熊本県立吉高等学校　全日制　シラバス

教科	体育	科目（単位数）	体育（３）	学年	2	類型	全クラス

学習目標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力の育成を目指す。

評価基準	知識・技能	①定期考査（知識）②実技テスト（技能）
	思考・判断・表現	①学習シート　②授業観察
	主体的に学習に向かう態度	①授業観察　②学習シート

期間	単元（学習内容）	学習の到達目標
1学期	体つくり運動 （ラジオ体操、青年体操）	【知】体力の構成要素は、健康に生活するための体力と運動を行うための体力に密接に関係していることを理解する。
		【思】仲間との話合いの場面で、合意を形成するための調整の仕方を見付けること。
		【態】体つくりの運動の学習に自主的に取り組もうとすること。
	ダンス	【知】いろいろな動きと関連させた柔軟運動やリズミカルな全身運動をすることで、結果として体力を高めることができることを理解する。
		【技】リズムの取り方や動きの連続のさせ方を組み合わせて、動きに変化を付けて踊ることができる。
		【思】作品創作や発表会に向けた仲間と話し合う場面で、合意形成するための関わり方を見付け仲間に伝えること。
		【態】ダンスの学習に自主的に取り組もうとすること。
	水泳（平泳ぎ）	【知】水泳の各種目で用いられる技術の名称があり、それぞれの技術には、効率的に泳ぐためのポイントがあることを理解する。
		【技】手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり、速く泳いだりすることができる。
		【思】合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を話したり、書き出したりすること。
		【態】水泳の学習に自主的に取り組もうすること。
	球技	【知】技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解する。
		【技】ゴール型・・・状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防を展開できる。
		【技】ネット型・・・状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作りだすなどの攻防をすることができる。
		【技】ベースボール型・・・状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防をすることができる。
		【思】合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を話したり、書き出したりすること。
		【態】球技の学習に自主的に取り組もうとすること。
	体育理論	【知】運動やスポーツの技能と体力及びスポーツによる障害について理解する。
2学期	ダンス	【知】いろいろな動きと関連させた柔軟運動やリズミカルな全身運動をすることで、結果として体力を高めることができることを理解する。
		【技】リズムの取り方や動きの連続のさせ方を組み合わせて、動きに変化を付けて踊ることができる。
		【思】作品創作や発表会に向けた仲間と話し合う場面で、合意形成するための関わり方を見付け、仲間に伝えること。
		【態】ダンスの学習に自主的に取り組もうとすること。
	球技	【知】技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解する。
		【技】ゴール型・・・状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防を展開できる。
		【技】ネット型・・・状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作りだすなどの攻防をすることができる。
		【技】ベースボール型・・・状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防をすることができる。
		【思】合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を話したり、書き出したりすること。
		【態】球技の学習に自主的に取り組もうとすること。
	武道	【知】勝敗を競ったりする楽しさを味わい、伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方、課題解決の方法、試合の仕方などを理解する。
		【技】柔道・・・相手の動きの変化に応じた基本動作から、得意技や連絡技・変化技を用いて、素早く相手を崩して投げたり、抑えたり、返したりするなどの攻防を展開することができる。
		【技】剣道・・・相手の動きの変化に応じた基本動作から、得意技を用いて相手の構えを崩し、素早くしかけたり応じたりするなどの攻防を展開することができる。
		【思】攻防などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。
		【態】武道の学習に自主的に取り組もうとすること。
	陸上競技 （短距離・リレー・長距離走）	【知】技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解する。
		【技】中間走の高いスピードを維持して速く走ることやバトンの受渡しで次走者と前走者の距離を長くすることができる。
		【技】自分で設定したペースの変化や仲間のペースに応じて、ストライドやピッチを切り替えて走ったり、タイムを短縮したり、競争したりできる。
		【思】動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。
		【態】陸上競技の学習に自主的に取り組もうとしている。
	体育理論	【知】スポーツの技術と技能及びその変化、運動やスポーツの技能の上達過程について理解する。
3学期	球技	【知】技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解する。
		【技】ゴール型・・・状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防を展開できる。
		【技】ネット型・・・状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作りだすなどの攻防をすることができる。
		【技】ベースボール型・・・状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防をすることができる。
		【思】合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を話したり、書き出したりすること。
		【態】球技の学習に自主的に取り組もうとすること。
	体育理論	【知】運動やスポーツの活動時の健康・安全の確保の仕方を理解する。

令和５年度（２０２３年度）　熊本県立人吉高等学校　全日制　シラバス

教科	体育	科目（単位数）	保健（１）	学年	2	類型	全クラス

学習目標	保健の見方・考え方を働かせて、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力の育成を目指す。

評価内容	知識・技能	①定期考査の知識：７割　②提出物：３割
	思考・判断・表現	①定期考査の思考・判断・表現：５割　②小テスト、課題研究の提出による思考・判断・表現：３割　③提出物：２割
	主体的に学習に向かう態度	①観察：７割　②提出物：３割

期間	単元（学習内容）	学習の到達目標
1学期	思春期と健康	【知】思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面，心理面，行動面などの変化に関わり，健康課題が生じることがあることを理解できるようにする。その際，これらの変化に対応して，自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりする態度が必要であること，及び性に関する情報等への適切な対処が必要であることを理解できるようにする。
		【思】生涯を通じる健康に関わる事象や情報から課題を発見し，疾病等のリスクの軽減，生活の質の向上，健康を支える環境づくりなどと，解決方法を関連付けて考え，適切な方法を選択し，それらを説明することができるようにする。
	結婚生活と健康	【知】結婚生活について，心身の発達や健康の保持増進の観点から理解できるようにする。その際，受精，妊娠，出産とそれに伴う健康課題について理解できるようにするとともに，健康課題には年齢や生活習慣などが関わることについて理解できるようにする。また，家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響などについても理解できるようにする。また，結婚生活を健康に過ごすには，自他の健康に対する責任感，良好な人間関係や家族や周りの人からの支援，及び母子の健康診査の利用や保健相談などの様々な保健・医療サービスの活用が必要であることを理解できるようにする。
		【思】生涯を通じる健康に関わる事象や情報から課題を発見し，疾病等のリスクの軽減，生活の質の向上，健康を支える環境づくりなどと，解決方法を関連付けて考え，適切な方法を選択し，それらを説明することができるようにする。
	加齢と健康	【知】中高年期を健やかに過ごすためには，若いときから，健康診断の定期的な受診などの自己管理を行うこと，生きがいをもつこと，運動やスポーツに取り組むこと，家族や友人などとの良好な関係を保つこと，地域における交流をもつことなどが関係することを理解できるようにする。また，高齢期には，加齢に伴い，心身の機能や形態が変化すること，その変化には個人差があること，疾病や事故のリスクが高まること，健康の回復が長期化する傾向にあることについて理解できるようにする。
		【思】生涯を通じる健康に関わる事象や情報から課題を発見し，疾病等のリスクの軽減，生活の質の向上，健康を支える環境づくりなどと，解決方法を関連付けて考え，適切な方法を選択し，それらを説明することができるようにする。
	労働災害と健康	【知】労働による傷害や職業病などの労働災害は，作業形態や作業環境の変化に伴い質や量が変化してきたことを理解できるようにする。また，労働災害を防止するには，作業形態や作業環境の改善，長時間労働をはじめとする過重労働の防止を含む健康管理と安全管理が必要であることを理解できるようにする。
		【思】生涯を通じる健康に関わる事象や情報から課題を発見し，疾病等のリスクの軽減，生活の質の向上，健康を支える環境づくりなどと，解決方法を関連付けて考え，適切な方法を選択し，それらを説明することができるようにする。
	働く人の健康の保持増進	【知】働く人の健康の保持増進は，職場の健康管理や安全管理とともに，心身両面にわたる総合的，積極的な対策の推進が図られることで成り立つことを理解できるようにする。働く人の日常生活においては，積極的に余暇を活用するなどして生活の質の向上を図ることなどで健康の保持増進を図っていくことが重要であることを理解できるようにする。
		【思】生涯を通じる健康に関わる事象や情報から課題を発見し，疾病等のリスクの軽減，生活の質の向上，健康を支える環境づくりなどと，解決方法を関連付けて考え，適切な方法を選択し，それらを説明することができるようにする。

使用教材（教科書・副教材）	教科書：現代保健体育（大修館），副教材：現代保健体育ノート

令和５年度（２０２３年度）　熊本県立吉高等学校　全日制　シラバス

教科	芸術	科目（単位数）	書道Ⅱ（２）	学年	1	類型	全クラス

学習目標	書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を育成する。

評価基準	知識・技能	①ワークシート（知識）：約３割　②作品（技能）：約７割
	思考・判断・表現	①ワークシート(鑑賞)：約５割　②ワークシート(表現の工夫)：約５割
	主体的に学習に向かう態度	①ワークシート：約５割　②活動の様子、提出状況など：約５割

期間	単元（学習内容）	学習の到達目標
1学期	漢字の書の鑑賞 漢字の変遷 王羲之の書の鑑賞	（知）（知識）各書体の線質、字形、構成などの要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、漢字の書の特質と歴史について理解する。
		（思）作品の価値と根拠、生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって捉える。
		（学）主体的に創造的な鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	漢字の書の臨書 篆書	（知）（知識）漢字の書を構成する様々な要素、古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解する。
		（知）（技能）古典に基づく効果的な表現、変化や調和等による全体の構成の技能を身に付ける。
		（思）知識や技能を得たり生かしたりしながら、表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫し、相手に伝えることができる。
		（学）主体的に漢字の書の創造的な学習活動に取り組もうとしている。
	隷書	（知）（知識）漢字の書を構成する様々な要素、古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解する。
		（知）（技能）古典に基づく効果的な表現、変化や調和等による全体の構成の技能を身に付ける。
		（思）知識や技能を得たり生かしたりしながら、表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫し、相手に伝えることができる。
		（学）主体的に漢字の書の創造的な学習活動に取り組もうとしている。
	草書	（知）（知識）漢字の書を構成する様々な要素、古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解する。
		（知）（技能）古典に基づく効果的な表現、変化や調和等による全体の構成の技能を身に付ける。
		（思）知識や技能を得たり生かしたりしながら、表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫し、相手に伝えることができる。
		（学）主体的に漢字の書の創造的な学習活動に取り組もうとしている。

使用教材（教科書・副教材）	教科書：「書Ⅱ」（光村図書）、chromebook
学習方法	授業、グループワーク、実技
評価方法	（知）作品、ワークシートなど （思）ワークシート(鑑賞)、ワークシート(表現の工夫)など （態）ワークシート、活動の様子、提出状況など

令和５年度（２０２３年度）　熊本県立人吉高等学校　全日制　シラバス

教科	芸術	科目（単位数）	書道Ⅱ（２）	学年	1	類型	全クラス

学習目標	書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を育成する。

評価基準	知識・技能	①作品：約７割　②ワークシート（知識）：約３割
	思考・判断・表現	①ワークシート(鑑賞)：約５割　②ワークシート(表現の工夫)：約５割
	主体的に学習に向かう態度	①ワークシート：約５割　②活動の様子、提出状況など：約５割

期間	単元（学習内容）	学習の到達目標
2学期	文化祭の作品制作 漢字の創作 （うちわの制作）	（知）（知識）漢字の書を構成する様々な要素について、線質、字形、構成などの要素と表現効果や風趣との関わり、日本および中国などの文字と書の伝統と文化などについて理解する。
		（知）（技能）古典に基づく効果的な表現の技能、変化や調和などによる全体の構成の工夫の技能を身に付ける。
		（思）表現形式に応じた全体の構成、感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫している。
		（学）主体的に漢字の書の創造的な学習活動に取り組もうとしている。
	文化祭の作品制作の鑑賞	（思）作品の価値とその根拠、生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深くとらえる。
		（学）主体的に漢字の書の創造的な学習活動に取り組もうとしている。
	行書	（知）（知識）漢字の書を構成する様々な要素、古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解する。
		（知）（技能）古典に基づく効果的な表現、変化や調和等による全体の構成の技能を身に付ける。
		（思）知識や技能を得たり生かしたりしながら、表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫し、相手に伝えることができる。
		（学）主体的に漢字の書の創造的な学習活動に取り組もうとしている。
	楷書	（知）（知識）漢字の書を構成する様々な要素、古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解する。
		（知）（技能）古典に基づく効果的な表現、変化や調和等による全体の構成の技能を身に付ける。
		（思）知識や技能を得たり生かしたりしながら、表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫し、相手に伝えることができる。
		（学）主体的に漢字の書の創造的な学習活動に取り組もうとしている。
	篆刻の創作	（知）（知識）篆刻や刻字を構成するさまざまな要素、書体・書風や配字等による表現の効果を理解する。
		（知）（技能）目的や用途、意図に応じた効果的な表現の技能、書体・書風、配字等による全体の構成の技能を身につけている。
		（思）篆刻や刻字の表現形式に応じた全体の構成、感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫し、相手に伝えることができる。
		（学）主体的に篆刻の創造的な学習活動に取り組もうとしている。

使用教材（教科書・副教材）	教科書：「書Ⅰ」（光村図書）、chromebook
学習方法	授業、グループワーク、実技
評価方法	（知）作品、ワークシートなど （思）ワークシート(鑑賞)、ワークシート(表現の工夫)、作品など （態）ワークシート、活動の様子、提出状況など

令和５年度（２０２３年度）　熊本県立人吉高等学校　全日制　シラバス

教科	芸術	科目（単位数）	書道Ⅱ（２）	学年	1	類型	全クラス

学習目標	書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を育成する。	
評価基準	知識・技能	①ワークシート（知識）：約２割　①作品：約４割　②テスト：約４割
	思考・判断・表現	①ワークシート(鑑賞)：約３割　②ワークシート(表現の工夫)：約３割　②テスト：約４割
	主体的に学習に向かう態度	①ワークシート（毎回の記録）：約５割　②活動の様子、提出状況、テストなど：約５割

期間	単元（学習内容）	学習の到達目標
3学期	漢字仮名交じりの書の鑑賞	（知）（知識）線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、漢字仮名交じりの書の特質とその歴史等について理解する。
		（思）作品の価値とその根拠、生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって捉えることができる。
		（学）主体的に創造的な鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	漢字仮名交じりの創作	（知）（知識）漢字仮名交じりの書を構成するさまざまな要素や、名筆や現代のさまざまな書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解する。
		（知）（技能）目的や用途、意図に応じた効果的な表現、漢字と仮名の調和等による全体の構成の技能を身に付け表している。
		（思）目的や用途、表現形式に応じた全体の構成、感興や意図に応じた個性的な表現、現代に生きる創造的な表現について構想し工夫し、相手に伝えることができる。
		（学）主体的に漢字仮名交じりの書の創造的な学習活動に取り組もうとしている。

使用教材(教科書・副教材)	教科書：「書Ⅰ」（光村図書）、chromebook
学習方法	授業、グループワーク、実技
評価方法	（知）作品、ワークシート、テストなど （思）ワークシート(鑑賞)、ワークシート(表現の工夫)、テストなど （態）ワークシート、活動の様子、提出状況、テストなど

令和５年度（２０２３年度）　熊本県立人吉高等学校　全日制　シラバス

教科	英語	科目（単位数）	英語コミュニケーションⅡ （文系４・理系３）	学年	2	類型	全クラス

学習目標	外国語の習得を通して生徒の人間的成長を手助けし、自他の言語や文化に対する関心を高める。 確かな読解力を身につけ、読み取った内容を基に思考し、表現力を養う。

評価基準	知識・技能	①定期考査の知識・技能：６割　②小テスト：１割　③各課題・提出物：２割　④パフォーマンステスト：１割
	思考・判断・表現	①定期考査の思考・判断・表現：６割　②小テスト：１割　③各課題・提出物：２割　④パフォーマンステスト：１割
	主体的に学習に向かう態度	①定期考査：４割　②小テスト：２割　③各課題・提出物：３割　④パフォーマンステスト：１割

期間	単元（学習内容）	学習の到達目標
１学期	Lesson 1：Words that Can Guide You in Life 時制、使役の構文	【知】現在・過去・未来、使役の構文といった英文の構造を理解できる。 【思】インタビュー記事を読み、内容を理解することができる。 【学】学習した英文を活用し、自分の興味・関心、キャリア観を英語で話したり、書いたりして表現することができる。
	Lesson 2：Stationary--Changing Our Lives for the Better 時制、完了形の受動態	【知】時制、完了形の受動態について理解できる。 【思】身近な文具についての文章を理解し、内容に関して簡単な語句を使って書く事ができる。 【学】 文具に関する基本的な話題に関して、学習した語句を使って説明しようとする。
	Lesson 3：Salt: More than Just a Seasoning 形式目的語構文	【知】形式目的語構文、形容詞の構文について理解できる。 【思】食、歴史の力について書かれた内容について読み取り、理解できる。 学んだことをもとにスピーチを行うことができる。 【学】栄養や味付けについて、ペアで考えを深めようとする。
	Lesson 4：The Story of Holly Butcher 頻度を表す構文、複合関係詞	【知】頻度を表す構文、複合関係詞について理解できる。 【思】筆者への手紙を英文で書き、そのよう内容についてペアで話すことができる。 【学】学習した内容に関して、ペアやグループで話し合い、自らの意見を表現しようとする。
２学期	Lesson 5：Welcome to Costa Rica: An Invitation to Ecotourism 否定構文、冠詞の用法	【学】 否定構文、冠詞の用法について基礎的な知識・技能を身につけることができる。 【思】エコツーリズムについての英文を読み、多様性について考え、自らの考えを英語で表現することができる。 【学】エコツーリズムについてディスカンションを行おうとする。
	Lesson 6：The World Is Not So Simple--A Lesson from the Worldwide Bestseller, Factfulness 回想を表す表現、付帯状況	【知】回想を表す表現、付帯状況について基礎的な知識・技能を身につけることができる。 【思】説明文（プレゼンテーション）を読み取り、要点をつかむことができる。 【学】データの力について、図や表を活用しながら理解しようとする。
	Lesson 7：The Psychology of Everyday Experiences	【知】話し手の態度を表す構文、助動詞＋完了形について理解できる。 心理学について、学んだ語句や構文を活用し、50語～60語程度のパラグラフライティングができる。 【思】社会心理学の論理について、基本的な語句や文を活用し情報や意見のやり取りを他者と行い、論理的に伝えることができる。 【学】心理学について自らの進路との関連を考えながら学ぼうとしている。
	Lesson 8：An Ainu Girl Named Yukie 比較構文 無生物主語構文	【知】比較構文、無生物主語構文について理解できる。 【思】意志の力について、パラグラフライティングができる。 ペア・グループで物語を英訳し、朗読することができる。 【学】リスニング教材を活用し、その内容に関して他者と意見を深めようとする。
３学期	Lesson 9：The Miracle of the Abu Simbel Temples 名詞節の構文 動詞＋名詞＋過去分詞の構文	【知】名詞節の構文、動詞＋名詞＋過去分詞の構文について理解できる。 世界遺産についての説明文を読み、内容を理解することができる。 【思】世界遺産に関して、補助資料などのを活用し、目的に応じてペアやグループで意見をまとめることができる。 【学】社会的な話題について、補助資料や他者の意見を介して書き手や話し手の意図を理解しようとする。
	Lesson 10：Physics Goes a Long Way 仮定の構文 倒置	【知】仮定の構文、倒置について理解できる。 物理学についての説明文を読み、内容の要点をつかむことができる。 【思】物理学について、資料などの支援を活用し、目的に応じてペアやグループで意見を発表することができる。 【学】社会的な話題に関して、補助資料や他者の意見を介して話の展開を理解しようとする。

使用教材（教科書・副教材）	教科書：「New RaysⅡ」（いいずな），副教材：単語帳「Database4500」（桐原書店）、参考書「Vision Quest 総合英語」（啓林館）、NEO 現代を見る Approach、Hyper Listening、Listening Coach
学習方法	予習・授業・復習のサイクルの徹底。週末課題の活用。
評価方法	（知）考査・授業時の観察（ノート・レポート等）・スピーキングテスト、ライティングテスト （思）考査・授業時の観察（ノート・レポート）・ディスカッション、ディベート （学）考査・授業での観察（ノート・レポート等）・リスニングテスト

令和５年度（２０２３年度）　熊本県立人吉高等学校　全日制　シラバス

教科	英語	科目（単位数）	論理表現Ⅱ（文系３・理系２）	学年	2	類型	全クラス

学習目標	外国語の習得を通して生徒の人間的成長を手助けし、自他の言語や文化に対する関心を高める。 確かな単語・文法力を身につけ、自らの考えを話したり、書いたりして相手に伝える力を養う。

評価基準	知識・技能	①定期考査の知識・技能：６割　②各課題・提出物：３割　③パフォーマンステスト：１割
	思考・判断・表現	①定期考査の思考・判断・表現：６割　②各課題・提出物：３割　④パフォーマンステスト：１割
	主体的に学習に向かう態度	①定期考査：４割　②各課題・提出物：３割　④パフォーマンステスト：３割

期間	単元（学習内容）	学習の到達目標
1学期	Part 1 Lesson 1 How interesting Japanese culture is! 「文化」をテーマに，動詞の現在形・過去形・完了形・未来を表す表現を用いて，話したり書いたりして伝える。	【知】動詞の現在形・現在完了形・過去完了形の用法・意味を理解している。
		【思】制服着用の経験，制服のメリット・デメリットについて，クラスメートに伝えたり，相手からの質問に答えたりしている。また，その内容について整理し，聞き手に伝わるように論理的に話して発表している。
		【学】制服着用の経験，制服のメリット・デメリットについて，クラスメートに伝えたり，相手からの質問に答えたりしようとしている。また，その内容について整理し，聞き手に伝わるように論理的に話して発表しようとしている。
	Part1 Lesson 2 Wonderful places to visit in Japan 助動詞can，should，would，have to，must，should have+過去分詞を用いて，話したり書いたりして伝える。	【知】助動詞の用法・意味を理解している。助動詞を用いて訪日予定の外国人観光客にお勧めする場所についてクラスメートと伝え合い，その内容について発表する技能を身に付けている。
		【思】読み手によく理解してもらえるように，自分がこれまでに行った日本の旅行先について，見たり聞いたり体験したことを活用しながら，情報や自分の考えなどを，論理の構成や展開を工夫して書いて伝えている。
		【学】「ガイド付きツアーに参加するよりも，個人で旅をするほうがよい」という論題について，自分の考えを理由とともに伝えたり，相手の質問に答えたりしようとしている。
	Part1 Lesson 3 : Lesson 3 Precious water for all 「水資源」をテーマに，受動態の表現を用いて，話したり書いたりして伝える。	【知】受動態の基本的な形の用法・意味を理解している。 〈It is said that ～.〉・〈can be＋過去分詞〉の用法・意味を理解している。
		【思】「水は無料ですべての人に提供されるべきだ」という論題について，自分の考えを理由と事実を基に表現できる 。
		【学】「水は無料ですべての人に提供されるべきだ」という論題について，自分の考えを理由とともに伝えたり，自分の考えを理由と事実を基に表現しようとしている。
	Part1 Lesson 4 What has happened recently?「ニュース・情報」をテーマに，不定詞・動名詞を用いて，話したり書いたりして伝える。各3領域につき以下を目標とする。	【知】不定詞の名詞的用法，副詞的用法・主語になる動名詞・前置詞の目的語になる動名詞の用法・意味を理解している。
		【思】読み手によく理解してもらえるように，自分が覚えている最近のニュースについて，見たり聞いたり読んだりしたことを活用しながら，情報や自分の考えなどを，論理の構成や展開を工夫して書いて伝えている。
		【学】「高校生は世界で何が起きているかを知るために，新聞を毎日読むべきだ」という論題について，自分の考えを理由とともに伝えたり，相手の質問に答えたりしようとしている。
	Part1 Lesson 5 I'm into music and movies!「映画・音楽」をテーマに，分詞を用いて，話したり書いたりして伝える。各3領域につき以下を目標とする。	【知】分詞構文〈watch＋O(人)＋doing〉の用法・意味を理解している。
		【思】読み手によく理解してもらえるように，自分のお気に入りの歌手などについて，見たり聞いたり読んだりしたことを活用しながら，情報や自分の考えなどを，論理の構成や展開を工夫して書いて伝えている。
		【学】読み手によく理解してもらえるように，自分のお気に入りの歌手などについて，相手に伝え、相手の意見を理解しようとする。
2学期	Part1 Lesson 6 Where do you usually buy clothes? 「ファッション」をテーマに，関係詞を用いて，話したり書いたりして伝える。	【知】関係代名詞who，which・関係副詞whyの用法・意味を理解している。関係代名詞の非制限用法・複合関係副詞(wherever，whenever，however)の用法・意味を理解している。
		【思】読み手によく理解してもらえるように，自分がよく服を買う店について，見たり聞いたりして知っていることを活用しながら，情報や自分の考えなどを，論理の構成や展開を工夫して書いて伝えている。
		【学】他者とよく買う服や利用する店舗、販売方法について、意見を交わそうとする。
	Part 1 Lesson 7 What kind of books do you like best? 「本」をテーマに，比較の表現を用いて，話したり書いたりして伝える。	【知】形容詞，副詞の比較級，最上級〈A…比較級+than any other B〉の用法・意味を理解している。like ～ better than ... ・more and more ～の用法・意味を理解している。
		【思】自分が好きな本のジャンルや最も印象に残っている本について表現し、相手からの質問に答えたりしている。また，その内容について整理し，聞き手・読み手に伝わるように論理的に話して発表している。
		【学】読み手によく理解してもらえるように，自分の意見を，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，論理の構成や展開を工夫して表現しようとしている。
	Part 1 Lesson 8 Inventions that changed the way we live 「発明・便利なもの」をテーマに，仮定法の表現を用いて，話したり書いたりして伝える。	【知】仮定法過去・仮定法過去完了〈I wish＋S'＋過去形〉の用法・意味を理解している。If it were not for ～の用法・意味を理解している。
		【思】相手によく理解してもらえるように，スマートフォンによる私たちの生活の変化について，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，論理の構成や展開を工夫して表現している。
		【学】相手によく理解してもらえるように，スマートフォンによる私たちの生活の変化について，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，論理の構成や展開を工夫して表現している。
	Part 2 Lesson 3 How about trying this food? 「食べ物・食事」をテーマに，「提案する／勧誘する／好みを述べる」表現を用いて，話したり書いたりして伝える。	【知】「勧誘する／好みを述べる」表現の用法・意味を理解している。「提案する」表現の用法・意味を理解している。
		【思】「食料廃棄を減らすために私たちは何ができるか」という論題について，自分の考えを理由とともに伝えたり，相手の質問に答えたりしている。
		【学】「食料廃棄を減らすために私たちは何ができるか」という論題について，自分の考えを理由とともに伝えたり，相手の質問に答えたりしようとしている。
	Part2 Lesson 4 Tips for staying healthy 「健康」をテーマに，「助言する／忠告する」表現を用いて，話したり書いたりして伝える。	【知】「助言する／忠告する」表現の用法・意味を理解している。
		【思】健康を維持するためのアドバイスをするために，情報や事実を基に、論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えている。
		【学】健康に関して、他者と意見を交わし、会話を発展することができる。
3学期	Part 2 Lesson 5 I'm taking part in some volunteer activities tomorrow 「ボランティア」をテーマに，「依頼する」表現を用いて，話したり書いたりして伝える。	【知】「依頼する」表現の用法・意味を理解している。
		【思】ボランティア活動の主催者にその活動への参加許可を求めるために，論理の構成や展開を工夫して自分の考えを伝える文章を書いている。
		【学】ボランティア活動の主催者にその活動への参加許可を求めるために，60語程度で自分の考えを伝える文章を書こうとしている。
	Part2 Lesson 6 Where would you like to live in the future? 「暮らす場所」をテーマに，「賛成する／反対する」表現を用いて，話したり書いたりして伝える。	【知】「賛成する／反対する」表現の用法・意味を理解している。
		【思】外国に住むことについての他者の意見に対して，賛成もしくは反対の意見を表すために，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，論理の構成や展開を工夫して書いて伝えている。
		【学】外国に住むことについての他者の意見に対して，70語程度で自分の考えを伝える文章を書いて伝えようとしている。
	Part 2 Lesson 7 Which candidate is the right person? 「選挙」をテーマに，「意見を求める／述べる」表現を用いて，話したり書いたりして伝える。	【知】「意見を求める/述べる」表現の用法・意味を理解している。
		【思】「日本は成人年齢を18歳に下げたことは正しかった」という論題について，自分の考えを理由とともに伝えたり，相手の質問に答えることができる。
		【学】「日本は成人年齢を18歳に下げたことは正しかった」という論題について，他者と議論を発展することができる。

使用教材（教科書・副教材）	教科書：「EARTHRISE English Logic and Expression II Standard」（数研出版），副教材：単語帳「Database4500」（桐原書店）、参考書「Vision Quest 総合英語」（啓林館）、文法・語法「スクランブル英文法・語法」（旺文社）、リスニング教材「Hyper Listening」（桐原書店）、Listening Coach warm-up stage（いいずな）、構文用問題集「英語構文ワーク」（数研出版）、アップリフト英作文入試基本（Z会）
学習方法	予習・授業・復習のサイクルの徹底。週末課題の活用。
評価方法	（知）考査・授業時の観察（ノート・レポート等）・スピーキングテスト、ライティングテスト （思）考査・授業時の観察（ノート・レポート等）・ディスカッション、ディベート、スピーキングテスト、プレゼンテーション （学）考査・授業での観察（ノート・レポート等）・リスニングテスト